

# ウガンダの子供たちを救おう!

## 10月1、2日文化祭で救援物資受け付け



ボランティア活動への協力を呼びかける生徒たち

### 衣類や生活用品 抛出協力呼びかける

#### 【安房南高生徒会】

安房南高校の校内文化祭・ひかり野祭が、来月一、二の両日開催されるが、文化祭の中で同校生徒会生活委員会が、「ウガンダの子供たちを救おう!」を合言葉に、救援物資の受け付けや物資輸送費をねん出するためのバザーなどを実施することになり、協力を呼びかけている。

同校の第三十五回ひかり野祭は、同校生徒会が中心となって開催されるもので、今回のテーマは「Girls ambitious us!」二十一世紀に向かって!。

二日間の開催のうち、二日目は一般公開で、各文化クラブで日ごろの活動の成果を展示・発表するほか、演劇やバンド演奏なども行われる。

救援物資の受け付けとバザーの開催は、アフリカのウガンダでは、両親がエイズで死んでしまったために孤児が増加しているという窮状から子供たちを救おうというもの。

同校生活委員会が、館山市大賀の「かにた婦人の村」の深津牧師のところに届いたウガンダの孤児たちの窮状に見かねて、ボランティア活動に積極的に取り組んでいくことにし、とりあえず文化祭で、救援活動を行うことにした。

このため、各家庭にある文房具や衣類、生活用品等で寄付できるものがあつたら持参して欲しいといっている。